

平成28年度 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク総会

《 次期開催地メッセージ 》

(事務局より代読)

来年度の日本海にぎわい・交流海道ネットワークの総会開催地としてご承認いただきました境港市でございます。次期開催地に選んで頂き誠にありがとうございます。

当市は、三方が海に拓かれた港町として、これまで海とともに歩み発展してまいりました。

日本有数の漁獲量を誇る西日本の水産基地として水産業が盛んな一方、江戸時代には北前船の寄港地、さらには明治以降、対岸諸国との定期航路が開設され、現在は製紙業や製鉄、金属リサイクル業など背後圏の産業振興に資する物流拠点の役割を担っております。

近年は、日本で唯一の環日本海定期貨客船航路の開設に加え、クルーズ客船の寄港回数も増加し、境港を玄関口として国内外から多くの観光客が鳥取県西部から島根県東部各地の観光地を訪れるようになり、当圏域では、行政、民間が県境を越えて一体となっておもてなしに取り組んでいるところです。物流、人流ともに港湾需要が高まる中、新たな水深12mの国際物流ターミナルが今年9月11日に供用開始になり、さらに平成31年度には、複合一貫輸送に対応する貨客船ターミナルや岸壁等の完成が予定されています。

本ネットワークの総会の当市開催は、平成9年8月に続き20年ぶり2回目となりますが、港湾整備の充実やクルーズ客船の多数の寄港など、境港への注目度が高まる中で開催されますことを、大変意義深く感じますとともに、皆様方のお越しを心からお待ちしております。

平成28年10月12日

境港市長 中村 勝治